

和歌山県白浜と紀伊大島間の海岸道路で事故死した 3 個体のホンダヌキ

Shin KUBOTA: Three individuals of *Nyctereutes procyonoides viverrinus* TEMMINCK found as road-kills along a seaside road between Shirahama and Kii-Oshima, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

和歌山県白浜町臨海にある京都大学瀬戸臨海実験所から串本町須江にある京都大学紀伊大島実験所に至る海岸道路で、2004年8月8日午前6時45分から8時10分の間に、普通乗用車で走行中に3個体のホンダヌキ *Nyctereutes procyonoides viverrinus* TEMMINCK の幼獣が、3地点で交通事故死していたのを目撃したので報告する。

1 個体は日置川町志原海岸より数 km 南方の地点、2 個体は串本町田並で、海中公園センターより数 km 手前の近接 2 地点で、いずれも国道 42 号の道路上で目撃した。

上記のように、約 55 km ほどの距離で 3 個体のホンダヌキの交通事故死例は、著者の過去 10 年ほどの経験にはなかったことである。これまでは、1997 年 9 月下旬に、ほぼ同じ行程で、1 個体のホンダヌキの事故死を目撃し

た例を報告した (久保田, 1998) が、その時は、ニホンテン 2 個体とホンダヌキ 1 個体の交通事故死であった。その後は、ただ 1 個体のホンダヌキが事故死していた例を数度目撃してきただけだった (久保田, 未発表)。

今回の事故原因は、ホンダヌキ幼獣の行動特性などに求めるよりも、当日および前日が土日の休暇だったことをはじめ、夏期休暇やお盆が近いので、車両の量が普段よりも増えていたことも関係しているのかもしれない。

引用文献

久保田 信. 1998: 和歌山県日置川町志原海岸の国道で次々と事故死したホンダヌキとニホンテン (哺乳綱、食肉目). 南紀生物, 40 (1), 135-136.

京都大学フィールド科学教育研究
センター瀬戸臨海実験所
(〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海)